

# 川口市立高等学校

～新しい学びを先取りし、  
実践する環境づくりをねらいに新設～

## 《概要》

埼玉県川口市、設置している市立高等学校3校（市立川口高等学校、市立川口総合高等学校、市立県陽高等学校）を再編・統合した。

新しい川口市立高等学校は、平成30年（2018年）4月に開校、新しい校舎で学校教育が取り組まれている。

今後、体育館やグラウンドなどを整備し、2021年度に全ての施設が完成する予定である。

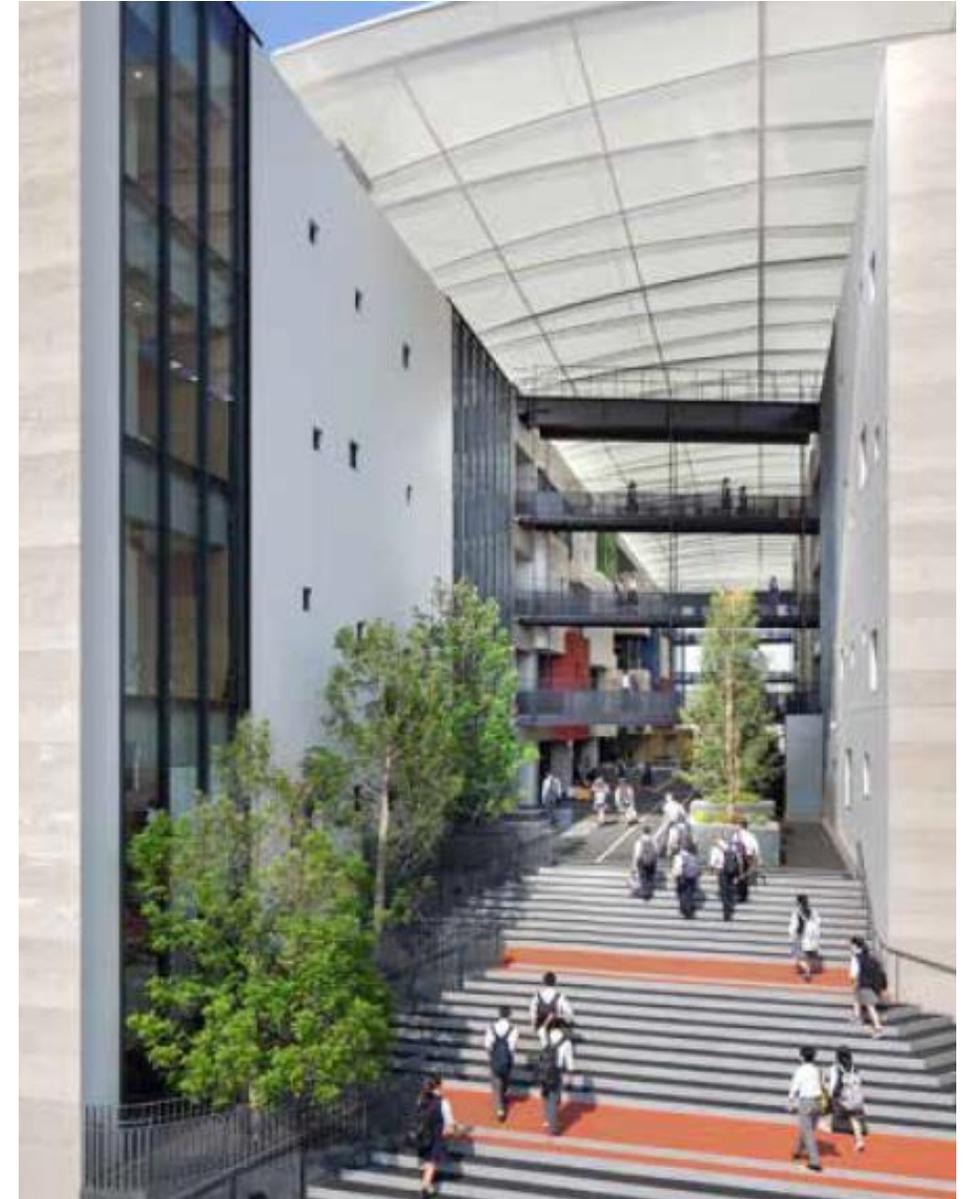
## 《全体計画》



新校舎は、既存の市立川口総合高等学校のグラウンドに建設し、既存の校舎を解体した場所に2つの体育館を作り、東西に連なるそれらの施設をつなぐキャンパスロードを計画。校舎側をランニングストリート、体育館側をフィジカルストリートとして中央広場をつなぐ。

ランニングストリートは、風が通り抜け、膜屋根による柔らかな光に包まれた全天候型の生徒の居場所に。

校舎等を貫く道（ランニングストリート）は、校舎南側の普通教室エリアと北側の特別教室エリアの間に位置している。



## 《施設の概要》

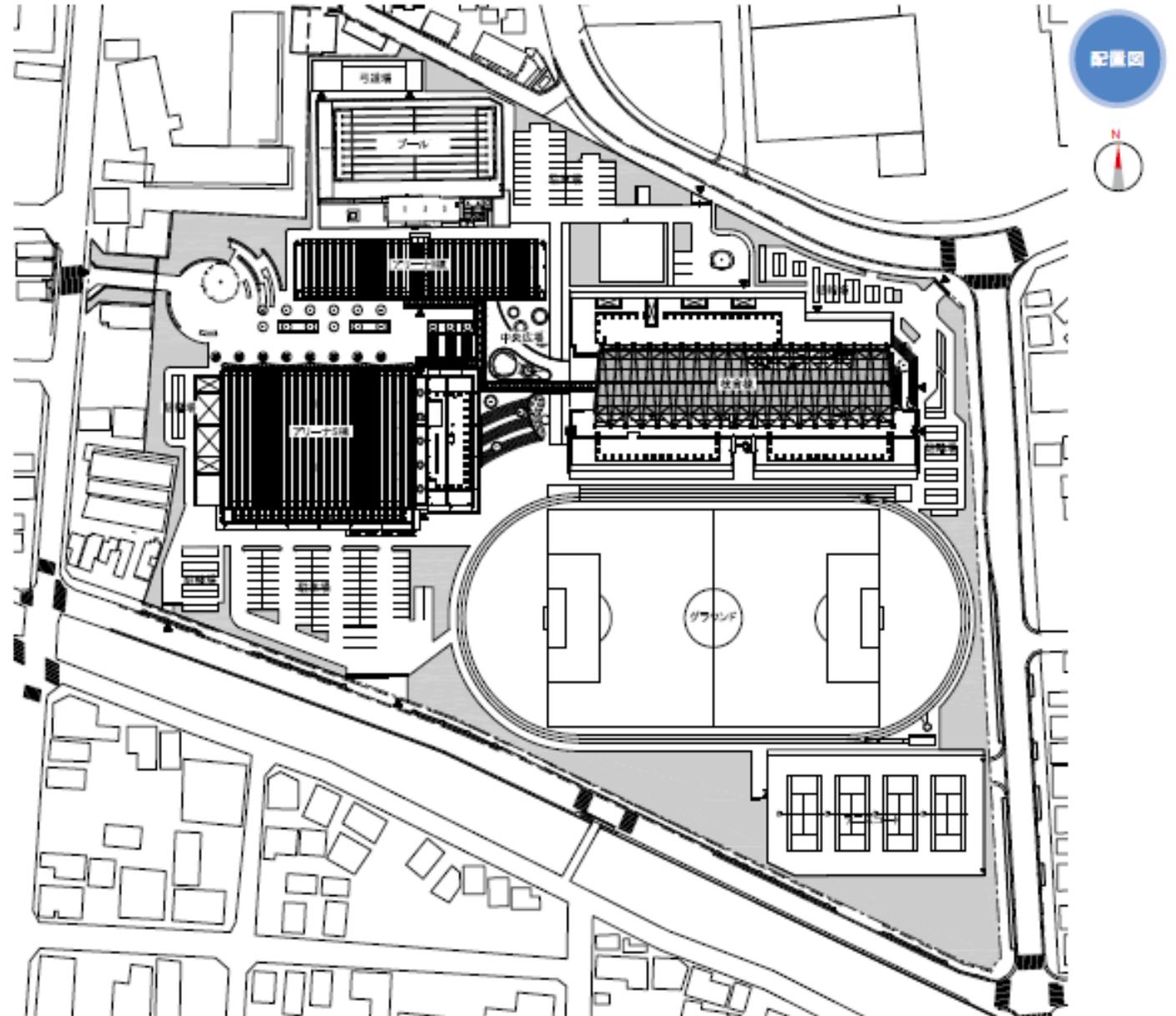
都市再生整備計画を基幹事業として、国土交通省の「都市リノベーション事業」の指定を受けている。

新校舎の他、体育館2棟を建設し、柔道場、合宿所も新たに設置。

プールは既存施設を引き続き使用。

グラウンドは人工芝を敷設する予定。

防災備蓄倉庫、マンホールトイレの整備を行い、工事完了は2021年度を予定。



## 《教育環境》



普通教室にはプロジェクターを設置。

ロッカーはロッカースペースとして教室外に設置。

ラーニングストリートは半屋外であり、お昼にはお弁当を食べられる。

1 学年(500人)を収容できる大ホールを設置。職員会議にも活用。